

# 児童発達支援ガイドラインによる自己評価について

## 保護者評価

2022年 1月  
にこにこハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、  
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率：保護者50%（14名/28名：回収数/配布数）

### <調査からの読み取り・改善点>

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	環境面、体制整備面においては、好評の意見が多く頂いているが、母子分離の支援提供であることから、「わからない」との意見も少数あり。	にこにこ新聞やホームページ動画を活用しながら児童の過ごし方を公開していく。毎回の連絡帳でのやり取りや送迎時の会話の他、写真等を見て頂くことで、保護者の方々へ活動周知を行う。 また、保護者の方との会話の中で課題点等を伺った際には、職員全員に周知すべくに改善を図る。
適切な支援の提供	開所してまだ約半年であるが、ニーズに合わせた支援等については、好評の意見が多くあり。 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるかについては、「わからない」「どちらともいえない」の意見が多くあり。	読み聞かせや創作活動、ことばの教室、体操教室、リトミック等の活動を曜日毎に設定し取り組んでいる他、利用児童に合わせて内容の調整等、臨機応変に対応している。 保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動については、現在のところ実施しておらず、検討段階である。
保護者への説明等	連絡帳や保護者の方との話の中で、家庭での様子や事業所での様子のやり取りが出来、情報共有が出来ている等、好評のご意見を頂いている。ペアレントトレーニングについて、父母の会の活動支援、保護者同士の連携支援について「行ってほしい」「どちらともいえない」「必要としていない」等、多数のご意見があった。	コロナ禍で事業所内での個別面談より電話や書面でのやり取りを求める保護者の方が多かった為、ご希望に合わせて実施。 保護者同士の交流の機会については、求められている意見と求めている意見が大きく分かれている為、実施出来ない。
非常時等の対応	コロナ禍の中で、感染症対策について保護者の方々の関心が集まっている。 また、避難訓練の実施があるのかについては、「わからない」との声が多く頂いている。	新型コロナウイルス等、感染症予防対策として、手洗い・換気・消毒等の予防対策を引き続き実施する。 個別支援計画書の更新時に合わせ、緊急場所や対策等の書面を配布して周知を図っていく。 また、避難訓練についても実施した月には新聞などで告知していけるように工夫する。
満足度	毎回子供が楽しく通所できているので嬉しい。通所するようになり子供の成長、変化が見られている。他のお友達と楽しそうに過ごしている写真を見て嬉しい等、高い評価をいただいた。	満足度が低下しないよう、サービスの質の維持、向上を図っていく。 児童が楽しく安心して過ごせるよう、保護者の方が安心してお子様を預けられるよう、日々支援に励んでいきたい。 ニーズに合わせた活動や様々なイベントを今後も計画していく。